

木造の小屋や倉、および茅葺き民家研究の第一人者であり、「里山」という言葉を広めた、建築家の安藤邦廣先生を訪問いたします。

花粉症で嫌われものになってしまった杉は、古くから加工しやすい素材として家屋や道具に親しみ使われてきました。室町時代以来、需要に応えるため北山杉をはじめ植林が行われ、第二次世界大戦後は不足する住宅のために大量に植林されました。しかし、高度経済成長期以来、木造住宅は減り不要となりいまに至っています。

茅葺きは、民家のシンボルであっても、葺く技術も維持する方法もそしてその家での暮らし方も忘れられつつあります。

安藤先生は建築素材としての杉や茅をノスタルジーとして崇めるのではなく、現代に快適な「100年住宅」を建てるための素材として徹底的に使い、時には川上にのぼり、素材確保のための製材や社会参加による仕組みをつくられてきました。さらには、2011年の東日本大震災時、仮設住宅を同条件の予算で杉の板倉構法で建て、使い捨ての仮設住宅の現状の問題提議を行うと同時に、暮らした方たちに大変な好評で話題となり、木造住宅の現代における意義を示しました。

工芸の素材で入手困難の原因が、採取や加工をする人がいなくなったものも少なくありません。また、工芸品が現代の暮らしに必須のものであるという確証がもてないままノスタルジーでよさを語ってしまうことも多々あります。

安藤先生の歩みは、工芸素材確保と工芸品の需要を提案し解決するための魁けです。ご本人の講義と杉と茅の家をめくりながら学ぶことのできる、大変贅沢な機会、ぜひご参加ください。

The
Creation
of
Japan

「絶滅危惧の素材と道具」推進グループ合同イベント

「工芸と建築」推進グループ

一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン(CoJ)

2020

1/25 土

つくば 駅 10:00 集合
JR 常盤線 荒川沖 駅
18:15 解散予定

新年、建築と工芸素材で

茅ガヤガヤスギスギツアー

つくばのスコイところ
茅場・作業風景含む
満喫バスツアーと
茅葺きのお宅で
安藤先生の講演会と
里山井当て
昼食会つき!

つくばエクスプレス「つくば駅」

つくばで、

安藤邦廣先生や茅葺き職人さんと

「茅」と「杉」の建築を学び、
工芸素材の未来を考える

お申し込みはお早めに!

「つくばガヤガヤスギスギツアーに参加希望」

参加者全員分のお名前、携帯電話を記載のうえ

メールでお申し込み下さい

info@thecreationofjapan.or.jp

トーク&ツアー

参加費 (昼食込)

CoJ 会員 8,000 円

会員以外のかた 10,000 円

CoJ 会員優先イベント
先着20名様募集

入会検討中のかた、会員お知り合い&お連れ様OK



※「秋葉原駅」から約50分

写真提供：里山建築研究所

10:00 つくばエクスプレス「つくば駅」集合

撮影：安藤邦廣

10:10 つくば駅バス出発

↓バス移動・徒歩10分

11:10-11:30 白雲居 (1) 見学

お車でお越しの方は
申込受付時に合流場所を
おしらせします。

11:30-12:30 白雲居 (1) で安藤先生の講演

12:30-13:10 談話しながら昼食／里山弁当つき

↓徒歩10分・バス移動・徒歩10分

13:40-14:00 筑波山梅林東屋 (2) 見学

↓バス移動

14:15-14:30 美六山荘 (六所の家) (3) 見学

↓バス移動

15:30-16:10 逢善寺にて茅葺き職人の作業見学

↓バス移動

16:40-17:25 霞ヶ浦の茅場 (ヨシ原) 見学

↓バス移動

18:15 JR常盤線「荒川沖」駅にて解散予定

↓希望者は懇親会会場 (つくばの評判のイタリアン) へ



講師プロフィール

安藤邦廣 (あんどう・くにひろ)

1948年 宮城県に生まれる。建築家、里山建築研究所主宰、(一社)日本茅葺き文化協会代表理事、日本板倉建築協会代表理事

1973年 九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業。東京大学工学部助手を経て、

1998年～2013年 筑波大学教授、現在同大学名誉教授。

「小屋と倉ー干す・仕舞う・守る 木組みのかたちー」で、2011年日本建築学会賞(論文)を受賞

著書に『日本茅葺き紀行』『職人が語る木の技』『小屋と倉』『住まいを4寸角で考える』ほか。

2019年は、国際茅葺き会議2019(岐阜・白川郷)を主催し、また改元に際し歴史上初めて茅葺きが採用されなかったこと
に対して、「大嘗宮の茅葺きについて要望書」を内閣官房長官ならびに宮内庁長官宛に提出。

□里山建築研究所の紹介 <http://satoyama-archi.co.jp/works/works.html>